

「学校事故対応に関する指針の見直しワーキンググループ」検討事項 及びスケジュールについて

「学校事故対応に関する指針の見直しワーキンググループ」における検討事項

課題

「第3次学校安全の推進に関する計画」より

■ 事故等の発生後の被害者及びその家族への配慮した支援が十分に取られていないと考えられる事案や、児童生徒の死亡事故に関する国への報告がなされていない事案も見られることなど、事故対応指針の作成当初に想定していた取組が進んでいない状況にある。

これまでの有識者会議における主な意見

- 詳細調査への移行及び調査委員会設置の在り方を検討、国が一元的に調査することも必要。
- 保護者が詳細調査を望まない場合等もあり、詳細調査への移行する判断や事故対応の報告を求める対象を整理すべき。
- 指針運用の周知徹底が課題で指針に沿った対応を通知等で依頼すべき。
- 国に報告が上がってこない実情に対して、情報が集まってくる仕組みと連動させるべき。
- 詳細調査の専門家の活用で、事故事案ごとに専門家を構成していくことも必要。
- 学校現場に基本調査の方法をわかりやすく解説したマニュアル必要。
- コーディネーターの機能、被害児童生徒等への支援に課題はないか把握することが必要。

主な検討事項

- 1 詳細調査に移行する判断基準及び基本調査・詳細調査の在り方
- 2 国への死亡事故報告の在り方
 - ・ 他機関の事故報告を踏まえて
- 3 被害児童生徒等やその家族への配慮した支援
- 4 指針の運用に関する周知徹底
 - ・ 研修等
- 5 事故の再発防止
 - ・ 事故の再発防止に向けた情報発信 等

☆実態を踏まえた検討に当たって

- ・ 現指針運用に関する実態調査（都道府県教育委員会及び市区町村教育委員会を対象）
- ・ 詳細調査に関するヒアリング（詳細調査を行った教育委員会等より）

「学校事故対応に関する指針の見直しワーキンググループ」検討スケジュールについて

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
有識者会議（親会議）	第1回 6/5		第2回 8/24 ↑ 報告		報告		第3回	報告	第4回	
学校事故対応に関する指針の見直しWG	第1回 6/23 ・協議の方向性確認 ・指針運用実態調査項目 ■ヒアリング ・ご家庁よりCDRの取組		第2回 8/4 ・調査結果等課題への対応整理 ・指針見直しの検討事項案 ■ヒアリング ・詳細調査実施教委より	第3回 9/11 ・指針見直し内容素案検討 ■ヒアリング ・ご家庁より事故報告等			第4回 ・指針見直し案 ・周知方法等検討			
学校事故対応に関する指針の運用に関する実態調査		調査開始 (10日から) 教育委員会 (31日まで回答) →	集計作業 - - - →							